

介護福祉科

系列	開講科目 英語表記	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1 年		2 年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	
基礎分野	情報科学 Computer Literacy	必修	演習	90	(3)	30	30	30		コンピュータの操作方法（ワード・エクセル・パワーポイント）の技術が身に付く。
	福祉英語 Communication English for Welfare	〃	講義 演習	60	(4)	30	30			福祉分野の英語の基礎的な知識や海外研修での施設見学に必要な知識と専門用語を理解できる。
	国際福祉論 Cross-cultural Communication in Welfare	〃	演習	30	(1)			30		海外の福祉と文化を学び実際に見学体験をする。外国・異文化圏の福祉観や制度に触れ、福祉の展望や課題について考えることができる。
	介護福祉特講 「地域福祉」と「介護予防」 Special Topics in Caregiving and Welfare	〃	講義 演習	90	(6)	30		30	30	「生活」「家庭」の視点から地域福祉の現状・展望を学ぶ。「介護予防」の視点から地域福祉の課題と展望を学ぶ。クラス、グループ活動を通して協働とリーダーシップを身につけることができる。
	介護福祉研究 Research in Nursing Home and the Elderly	〃	演習	90	(3)		30	30	30	介護実習や介護教育の学びにおける気づきからグループ研究として取り組む。専門領域の研究での知識を専門的に身につけ論文を作成・発表できるようになる。
	試験対策講座 Examination Measures Seminar	〃	講義	60	(4)			30	30	国家試験等の傾向と対策において介護福祉士の知識技術を確認する。また、検定試験の合格を目指す。
	手話と点字 Sign Language and Braille	〃	演習	60	(2)		30	30		聴覚障害者や視覚障害者とのコミュニケーションの応用としての基本的知識、技術を身につけることができる。
	健康科学講座 Seminar in Health Sciences	〃	講義	60	(4)			30	30	介護予防を学ぶ1つとして健康分野とケア分野の専門知識を理解し日常生活動作向上につなげる技法を身につける。
専門分野	人間の尊厳と自立 Human Dignity and Self-reliance	〃	〃	30	(2)	30				介護における尊厳・自立保持の支援や介護場面における倫理的課題を学び、取り組む姿勢を身につけることができる。
	人間関係とコミュニケーション Interpersonal Relationship and Communication Techniques	〃	〃	60	(4)	30		30		介護実践に必要な人間理解、他者への情報伝達に必要なコミュニケーションを学び、また介護を実践する上で必要なチームマネジメントの基礎を理解できる。
	社会の理解 I Concepts in Society and Social Security System I	〃	〃	30	(2)		30			個人を家族・近隣・地域・社会の単位でとらえ、また地域共生社会の考え方や地域包括ケアシステムの仕組みが理解できる。
	社会の理解 II Concepts in Society and Social Security System II	〃	〃	30	(2)			30		介護保険制度、障害者の自立支援を担う法制度、介護実践と諸制度を学び理解できるようになる。
	現代社会と職業 Modern Society and Occupation	必修 選択	〃	60	(4)	30	30			現代社会の基礎的問題を理解し、社会を見つめる感性を学ぶ。現代の職業を通し人間の生き方を考え、職業と言語(国語力)について理解でき
	生命科学 I Human Life Sciences in Welfare I	必修	〃	30	(2)	30				人間の生命・生命の維持、健康・健康の維持について基礎的な知識を学び、理解できるようになる。
	生命科学 II Human Life Sciences in Welfare II	〃	〃	30	(2)				30	生命科学 I を基礎に、バイオサイエンスの基礎や実際の高齢者介護の現場での医療者との連携についても学び、理解できるようになる。

介護福祉科

系列	開講科目 英語表記	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	
専 門 分 野	介護の基本Ⅰ Fundamentals of Caregiving Ⅰ	必修	講義	60	(4)	30	30			介護福祉の理念、尊厳を保持し自立に向けた生活への介護、介護の専門的役割、ICFについて学ぶ。倫理的な介護とは何かについて考える。総合的に介護を捉える力を身に付ける。
	介護の基本Ⅱ Fundamentals of Caregiving Ⅱ	〃	〃	60	(4)	30			30	介護実践する上での多職種連携の必要性、安全確保とリスクマネジメント、健康管理について学び理解できるようにする。
	介護の基本Ⅲ Fundamentals of Caregiving Ⅲ	〃	講義 演習	60	(4)		30	30		自立支援、介護予防、生活意欲の向上に向けた支援としてのレクリエーションやアクティビティを通して、社会参加・QOLの向上となる活動の実践的技術を身に付けることができる。
	コミュニケーション技術 (理論) Theory of Communication Skills	〃	講義	60	(4)	30	30			援助的コミュニケーションを理解し、多職種連携のためのコミュニケーション力を身につけることができる。
	生活支援技術Ⅰ(理論) Assisting Skills for Daily Living Support Ⅰ (Theory)	〃	〃	30	(2)	30				家庭生活(小規模多機能・ユニットケア・グループホームも含む)の基本、家事の介護、緊急時の対応について学び、対応できるようにする。
	生活支援技術Ⅰ(演習) Assisting Skills for Daily Living Support Ⅰ (Practicum)	〃	演習	30	(1)				30	調理・被服実習を通して高齢者の生活の実際を学び、介護支援できるようにする。
	生活支援技術Ⅱ(理論) Assisting Skills for Daily Living Support Ⅱ (Theory)	〃	講義	60	(4)	30	30			ICFの視点を生活支援に活かすことの意義を理解し、自立に向けた居住環境・移動・身支度・食事・入浴・清潔保持・排泄・休息・睡眠・人生の最終段階における介護と福祉用具の意義と活用について根拠に基づいた基本的な知識を身に付けることができる。
	生活支援技術Ⅱ(演習) Assisting Skills for Daily Living Support Ⅱ (Practicum)	〃	演習	120	(4)	60	60			ICFの視点を生活支援に活かすことの意義を理解し、自立に向けた居住環境・移動・身支度・食事・入浴・清潔保持・排泄・休息・睡眠・人生の最終段階における介護と福祉用具の意義と活用について演習を通して学ぶことができる。
	生活支援技術Ⅲ Assisting Skills for Daily Living Support Ⅲ	〃	〃	60	(2)			30	30	介護ロボットを含め、福祉用具を活用する意義やその目的を理解するとともに、多様な利用者の能力に応じた適切な介護技術を学ぶことができる。
	介護過程Ⅰ Comprehensive Assessment and Implimenting Caregiving Services	〃	講義	60	(4)		30	30		知識や技術を統合して介護過程を展開し、介護計画を立案できるようにする。他、適切な介護サービスの提供の為に介護と他職種の連携を学ぶ。
	介護過程Ⅱ Comprehensive Assessment and Implimenting Caregiving Services	〃	〃	30	(2)				30	介護実習で取り組んだ介護過程の展開の個別事例を振り返り、事例研究としてまとめ介護実践に活かせることができる。
	介護過程Ⅲ Comprehensive Assessment and Implimenting Caregiving Services	〃	〃	60	(4)			30	30	高齢者のニーズに基づいた介護過程の展開を実践し、チームとして介護過程を展開することの意義や方法が理解できる。
	発達と老化の理解 Human Development and Aging in Caregiving	〃	〃	60	(4)	30		30		人間の成長や発達過程において、老化が心身に与える影響や高齢者に多く見られる疾患を学び理解する事で、高齢者の生活を支援する為の基礎的な知識を習得する。
	認知症の理解 Concepts of Dementia	〃	〃	60	(4)		30	30		認知症者の体験や意思表示が困難な特性を理解する。本人のみならず家族や周囲の環境にも配慮した介護を学び身につける。
障害の理解 Concepts of disorder and Disability	〃	〃	60	(4)	30	30			障害者の心理や身体機能に関する基礎的な知識を学ぶ。本人のみならず家族や周囲の環境にも配慮した介護を学び身につける。	

介護福祉科

系列	開講科目 英語表記	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1 年		2 年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	
専門 分野	こころとからだのしくみ I Concepts of Human Mind and Body in Welfare I	必修	講義	60	(4)	30	30			介護実践の根拠となる、人間の心理 や人体の構造・機能および介護サー ビスの提供における安全への留意点 を学ぶことができる。
	こころとからだのしくみ II Concepts of Human Mind and Body in Welfare II	〃	〃	60	(4)			30	30	身支度や食事排泄などの生活を支える介護実践 との関係を学ぶ。又、終末期の心身の変化が及 ぼす影響、生活支援の必要な知識を学ぶことが できる。
	医療的ケア I Medical Skills and Techniques in Caregiving I	〃	〃	30	(2)		30			医療職と連携しながら医療的ケアを 必要とする人の生活を安全に支援出 来る様に医療的な知識や技術を習得 出来る様に学習する。
	医療的ケア II Medical Skills and Techniques in Caregiving II	〃	〃	30	(2)			30		医療職と連携しながら医療的ケアを 必要とする人の生活を安全に支援出 来る様に医療的な知識や技術を習得 出来る様に学習する。
	医療的ケア(演習) Practice of Medical Skills and Techniques in Caregiving	〃	演習	30	(1)				30	喀痰吸引・経管栄養の実施手順 について学び確実な手技を習得 できるようになる。
	介護総合演習 Comprehensive Practice in Caregiving	〃	講義	120	(8)	30	30	30	30	介護実践に必要な知識と技術の 統合を行うとともに、介護観を 形成し、専門職としての態度を 養う。
	介護実習 I Clinical Practice in Caregiving I	〃	実習	96	(2)		96			地域社会で暮らす高齢者や障害のある人の生活 の場である多様な介護現場で家族を含めたコ ミュニケーションの実践、多職種協働の実践、 介護技術を学ぶ。
	介護実習 II Clinical Practice in Caregiving II	〃	〃	376	(8)		160	216		介護施設で生活する利用者の状況に応じた介護 技術が実践でき、利用者の望む生活の実現に向 けて介護過程の展開ができる能力を身につけ る。
	総時間数			2482	(127)	540	796	726	420	